

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	9
事業名	文化財保護経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	5
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-2	文化のかおるまちをつくる	係名	生涯学習係	
	3-2-1	多様な文化・芸術活動の支援			
主要施策	③文化財の保存・活用				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の文化財	目的 (対象がどのような状態になっているか)	重要な文化財の保存と活用を図り、今後の世代へ継承する。
事業内容	町内の文化財の調査・指定及び保護を行うとともに、町内の文化財保護団体に対して補助金の交付を行うことによって存続と継承を支援する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	指定文化財の点数	8	8	8	点	↑	9
2								
3								
4								
5								
		平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B				2,912	3,004	3,135		
財源内訳	直接事業費 A				1,592	1,684	1,617	
	うち一般財源				1,592	1,684	1,617	
人件費 (千円) B				1,320	1,320	1,518		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.2	1320	0.2	1,320	0.23	1,518
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業を拡充して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	トウインヤエヤマザクラ、観音もみじの次世代の育成に取り組む。補助金について、提言を踏まえさらに精査を行ったうえ決定する。	③取組の課題	特になし
②R1年度に実施した取り組み	取り木、さし芽や種子の採取を行い次世代育成の取り組みを始めた。補助金については、プロジェクトチームでの検討を通じて精査を進めた。	④今後の改善計画	R1年度の取り組みをさらに進める。